

## 「変形性股関節症」を解説

日赤病院の牛越さん講演

40代以上の女性の10%がかかっているといふ統計があり、症状が進むと歩行困難になることもある「変形性股関節症」について学ぶ講演会がこのほど、安曇野市豊科の十八番館で開かれた。安曇野市立豊科病院リハビリテーション科の理学療法士・牛越浩司さんが、病気のメカニズムや治療法を解説した。

牛越さんは、股関節の危険因子として重労働や肥満などを挙げた。女性の場合、60歳ころの筋力は10歳と同じ程度まで衰えるのに、体重は2倍くらいに増える人が多いと指摘し、「予防や治療の方や手術療法などにも



変形性股関節症について  
説明する牛越さん

触れた。

講演会は、全国的な患者組織のNPO法人・のぞみ会の長野支部（事務局・安曇野市豊科）が開いた。講演会の広報担当者は「日常生活の見直しで病気の進行を抑えられることなどを、多くの人たちに知つてもらいたい」と話していた。

（小坂 功）